

のびやか



49号



重症心身障害児(者)棟 「ひまわり西棟」 クリスマス会

ボランティアの『ぴゅあ』さんと『ひ西音楽隊』のコラボもあり、大盛況でした。利用者さんが、ホワイトクリスマスという題名で作詞し、ボランティアさんに曲をつけて頂きました。何か月も前より、練習を重ね緊張しながらも、皆様の前で歌うことができました。サンタさんとトナカイさんは、準備に大忙しの日でした。

目次：

装具業者さんより	2~3
地域の事業所の紹介	4~5
センター行事の紹介	6
入所部門	7
読書コーナー	7
掲示板	8

◆◇装具業者さんよりワンポイントアドバイス◇◆

子どもの靴の選び方 Part3
 (有)アルテックブレース 佐々木 浩一 氏

赤ちゃんの靴は大人以上に大切。足が正しく成長するためには、かかとのしっかりした靴が必要です。

このように赤ちゃんの足は軟骨部分が多く柔らかいため、足に合わない靴でも履けてしまいがちですが、結果として足の正しい成長を阻害する要因になります。このような意味から赤ちゃんの靴は大人以上に大切で、かかとのしっかりした靴が必要です。

※足根骨とは、足首から下にあるかかとの骨のことです。踵骨・距骨・立方骨・第3楔状骨の4つ。

アーチの形成に合わせた中敷が必要！

大人のようなアーチに近づく6~7歳は、特に靴遊びを慎重に。

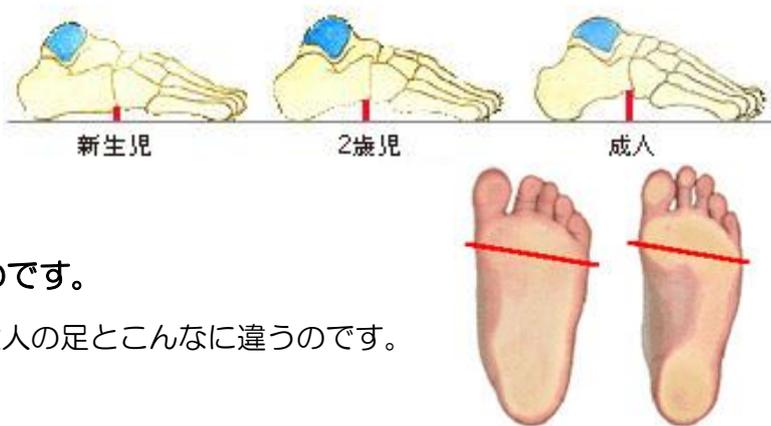
はだし感覚で動きやすい靴がいい。

歩いたり、走ったり、跳んだり...

全身を支え、いろいろな運動に推進力、つまり弾みをつけたり、またその衝撃を緩衝するのに大切なのが、足のアーチ。これは、弓形になっている足を支える骨のことで、大人になると、全部で3つのアーチで身体を支えているのです。

右絵のように、大切なアーチも生まれたての赤ちゃんにはほとんどありません。厚い脂肪に被われており、成長にともなって脂肪が取れ、骨が形成され、そしてアーチができてくるのです。このアーチ形成が始まるのは3歳頃で、足の指をしっかりと使って運動することでアーチの発達が進みます。大人のようなアーチに近づくのは6~7歳。

この時期には特に靴選びを慎重にし、アーチを正しく形成させ健康で活発な子どもに育てましょう。



子どもの足のバランスは大人とは全く違うのです。

足の長さを同じにしてみると、子どもの足は大人の足とこんなに違うのです。

- 足幅が広い。
- 指の部分が扇形である。
- 土踏ますが未完成。

子どもの足 大人の足

ぴったりと足に合った靴を履くと、子どもたちも思いっきり遊べます。

子どもたちにとって、遊ぶことは成長すること。

健やかに成長するために、足に合ったシューズを選んであげることは親の愛情です。

合わない靴を履いてると...！

すぐ大きくなってしまふ子どもの足。どうせすぐ大きくなるのだからって大きめの靴を選んでいませんか。また、無理をして靴が小さくなくても履かせたままにいませんか。少しでも子どもが痛がったら、それは靴が小さくなったサインです。合わない靴を履いていると、子どもの柔らかい足は変形してしまう危険性を持っています。

またそれだけではなく、歩き方も変わってしまうのです。大切な子どもの足には、サイズの合った靴を履かせてあげましょう。

1サイズ小さい靴



重心移動がまっすぐで、あおり動作ができていない歩き方。母趾球の荷重が大きく、母趾に負担が大きくかかっている。

正しいサイズの靴

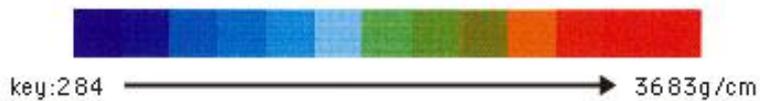


重心がかかとから、前足部にかけてきれいに移動しており、あおり動作が来ている。指もよく使っている。

1サイズ大きい靴

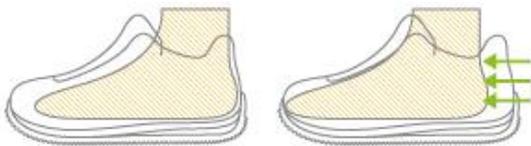


やはり重心移動が正しく行われておらず、あおり動作もできていない。靴が脱げないようにしているため、指をあまり使っていない。



大き目の靴を履いてると...!

大き目の靴を履いていると、靴の中で足が動いてしまい、正しい歩き方ができません。かかと部や甲部でしっかり足に靴をフィットさせておくことが大切です。



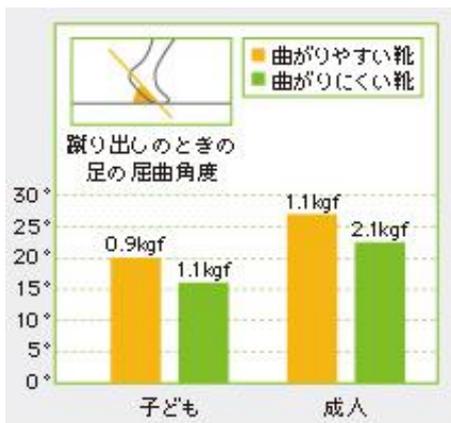
足首・甲部でしっかり留まっていないと、つま先にゆとりがあっても前にすべってしまい、小さい靴を履いたときのように指先がつまってしまいます。



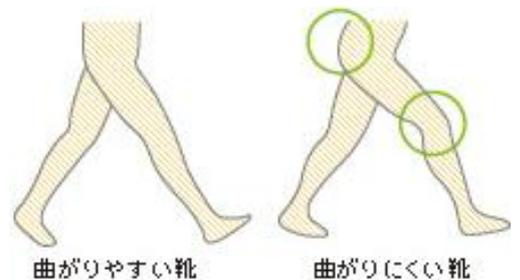
かかとがしっかりフィットしていないと、歩くたびにかかとがあがってしまい、不自然な歩き方になってしまいます。

曲がりにくい靴を履いてると...!

せっかくサイズの合った靴を履いていても、底が硬く曲がりにくい靴だと子どもの足に大きな負担をかけてしまいます。しっかりと地面を蹴って歩くためにも、足の曲がる位置できちんと曲がる靴を選んであげましょう。



大人が曲がりにくい靴を履くと、曲がりやすい靴の約2倍の力をかけて、靴を曲げて歩いています。しかし、子どもは筋力が弱いので、曲がりにくい靴でもかけられる力は小さいのです。したがって、曲がりにくい靴を履くと、足を曲げずに歩くため、図のような不自然な歩き方に...



大人も子どもも曲がりにくい靴を履くと屈曲角度が小さくなってしまいます。

地域の事業所の紹介 Part10

特定非営利活動法人夢んぼ（愛西市）

【第2夢んぼ・福祉ホーム夢んぼ】

今回は愛西市にある特定非営利活動法人「夢んぼ」を訪問させていただきました。平成22年に新設されたばかりの「夢んぼ」本部は、2階建ての綺麗な建物で、送迎用の車がたくさん止められる駐車場も備えられていました。1階に「福祉ホーム夢んぼ」と事務室、2階に「第2夢んぼ（日中一時支援事業）」がありました。

福祉ホームでは、低額で居室や生活に必要な設備が提供され、地域での自立した生活に向けた支援が行われています。定員は5名で、男性3名、女性2名が生活されているそうです。玄関や居室等のスペースも工夫されており、かつ家庭的な雰囲気を感じました。キッチンのみ男女共用で、利用者それぞれの炊飯器が置いてあり、各自で自炊しているとのことでした。一般企業に就労している人と、同法人が運営する「障害者地域生活支援センター」に通っている人がいるそうです。「地域生活支援センター」では、一般就労や継続就労が困難な方に、福祉と労働分野が連携し、就労に必要な訓練とともに、職場定着に至るまで一貫した援助が行われている



とのことでした。また、併設されている「地域活動支援センター」では、創作的活動や生産活動の機会が提供され、楽しみや生きがいを見つけながら日中の活動に取り組んでいるそうです。

2階の「第2夢んぼ（日中一時支援事業）」は学齢児を対象に、放課後や長期休暇などに、集団性、社会性の向上を図ることを通し、自立に向けた支援が行われています。学童部門と中高生部門に分かれて活動していました。学童部門はソファ等が設置され、ゆっくりくつろぐことができるスペースもありました。活動内容は月間の計画が立てられており、製作活動、音楽療法、外出訓練、社会体験、買い物指導、日常生活動作（衣類の着脱、洗顔など）などのプログラムを取り入れています。衣類着脱では、ファスナーやボタン、ホック、紐のついた衣類の更衣を習得できるような活動内容になっています。見学させていただいた日は、ちょうどボタンはめ、紐結びの日で、指導に使っていた材料は、スタッフの手作りの物で、子ども達が結びやすいように工夫されていました。個室を利用し、子どもとスタッフが1対1となり、個別の課題に集中的に取り組む時間もあり、すごく丁寧で、手厚い支援がされていると感じました。また、設定の場面だけではなく、日常生活の中でも、自立に向けたプログラムが意識的に取り入れられているように感じました。





中高生部門は長机と椅子が並んでおり、教室のような雰囲気を感じました。複数の送迎車に分かれて、次々に通って来ます。到着すると、まずは自分が着ている制服から私服やジャージに着替えていました。スケジュールもしっかりと決められており、日直を中心に活動が進められているとのことでした。子ども達でそれぞれの役割を決めるなど、自発的に運営されており、生き生きとした表情が印象的でした。子どもたちの自立に向け、スタッフは後方支援、見守りを中心とするように配慮されていました。活動内容も、将来の就労のために、職業訓練を意識したプログラムが多く取り入れられているとのことでした。



平成 17 年に児童デイサービスを開所してから、現在では愛西市内の 5ヶ所で事業を行っており、幼児期から成人期までの各ライフステージでの支援体制が整えられています。目の前にあるニーズに

「あきらめない！くじけない！なげださない！」を理念として、事業を展開されてきたそうです。「日中一時支援事業」は愛西市以外の子どものも利用していますが、愛西市の委託で行っている事業もあり、他市町村の方は利用することができない事業もあるそうです。

幼児期から成人期まで各ステージで必要な援助を受けられる体制が整えられている「夢んぼ」は、利用者さんや親御さんにとって心強い事業所であるように感じました。通い慣れた事業所に通うことを望んでも、各ライフステージで別々の事業所を選択しなければならない地域も多いと思います。「夢んぼ」のような事業所が増えたら、住み慣れた街で就労しながら、自立した生活が可能になるように思いました。

(支援員 葛谷)



♪お問合せ先♪

特定非営利活動法人夢んぼ
〒496-8014 愛西市町方町大山田61-1
電話/FAX : 0567-25-5913
E-mail yumenbo@s6.dion.ne.jp

特定非営利活動法人夢んぼ の事業内容

- 児童デイサービス事業 (第2わかば園) (愛西市受託事業)
- 日中一時支援事業 (小学生)
- 日中一時支援事業 (中高生)
- 愛西市障害者地域生活支援センター (愛西市受託事業)
- 地域活動支援センター事業 (あいさい)
- 愛西市立田北部子育て支援センター (愛西市受託事業)
- 愛西市北河田児童館 (愛西市受託事業)
- 福祉ホーム事業





フィンランド サンタクロースがやってきた♪

11月25日、名古屋樟ライオンズクラブの協力により、フィンランドからサンタクロースの慰問がありました。センターでは、サンタクロースを囲んで1ヶ月早いクリスマス会を行いました。



通園部どんぐり園では、ボールを使ったゲームをしたり、サンタクロースと記念撮影を行いました。プレゼントをもらうとしっかり握りしめていました。



重症心身障害児者棟では、サンタクロースへ歌を贈ったり、質問コーナーを設けていました。



肢体不自由児棟の子ども達は、学校から帰るとサンタクロースがいて驚きましたが、プレゼントをもらうと、笑顔でありがとうと握手をしていました。



入所部門

♪ 肢体不自由児棟 「なのはな棟」 ♪ 自立活動 調理実習

なのはな棟は肢体不自由児棟であるため、原則として、18歳までしか入所できません。

退所後は、家に帰る人、施設に行く人、社会に出て働く人など進路もさまざまです。

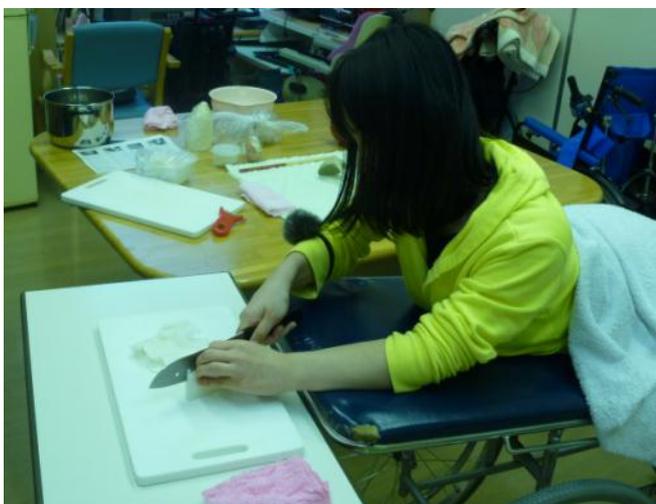
退所後の生活も考え、自立支援も大きな役割であると考えています。

今回はその一環として行っている「調理実習」を紹介します。

ADL室で、お味噌汁や焼きそばなどを作ってきました。

包丁づかいも、少しずつうまくなりました。

やっぱり、自分でつくる料理の味は格別、達成感も味わえます。 (看護師 江口)



読書コーナー

「ふしぎな キャンディーやさん」

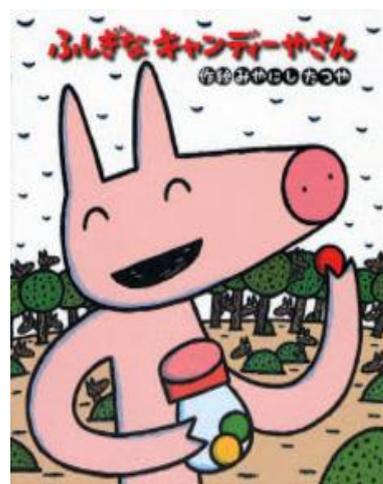
ぶん・え みやにしたつや

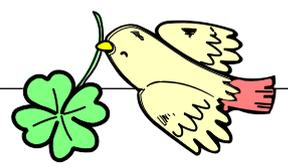
ある日、ぶたくんが森の中でみつけたキャンディーやさん。

「これをなめると不思議なことが起きるよ。」 たぬきおじさんに言われてなめてみるとあら不思議、力持ちになったり、変身できたり、声がかわったり・・・。

キャンディーをなめオオカミになったぶたくん、お友達に悪戯していると本物のオオカミと間違えられ仲間のところに連れて行かれます。周りはオオカミだらけ。ぶたくんは無事に帰って来られるでしょうか・・・。

ちょっとドキドキするけど、変身できるキャンディーなめてみたいですね。 (看護師 木村)





外来診療のご案内

	月	火	水	木	金
午前 9:00 ~ 12:00	リハ科(岡川) 小児科(麻生) 児童精神科(野邑) <第1・3・5> 歯科(加藤)	小児発達外来(安井) 皮膚科(杉浦) 児童精神科(松平) <第1・3・5> 児童精神科(小野) <第2> 眼科(森)	リハ科(岡川) 小児科(麻生) 小児発達外来(安井)	整形外科(栗田) 耳鼻科(別府) 児童精神科(早川) <第2・4>	整形外科(栗田) 小児科(安井) 小児科(橋本) <第1・3・5> 小児科(東) <第2・4> 児童精神科(鈴木) <第1・3・5>
午後 13:30 ~ 16:00	耳鼻科(別府) 児童精神科(野邑) 歯科(伊藤) 外来新患カンファレンス	小児科・染色体外来 (山中) <第2・4> 児童精神科(松平) <第1・3・5> 児童精神科(小野) <第2>	リハ科(岡川) 小児発達外来(安井) 泌尿器科(斎藤) <原則として第2・4> 眼科(高井) 歯科(加藤)	児童精神科(早川) <第2・4> 歯科(河合) <毎月1回>	児童精神科(鈴木) <第1・3・5> 小児外科 (小児外科医) <第3>

○平成22年10月1日現在の外来診療です。
 ○受診を希望される方は、電話で予約してください



- 名鉄犬山線 中小田井駅下車(新名古屋駅から犬山方面普通電車に乗り、4つ目の駅。所要時間9分)徒歩で約3分。
- 地下鉄鶴舞線 上小田井駅下車 徒歩で約13分。
- 一宮方面からは、国道22号を「古城1」で左折、4つ目の信号「中小田井4」を右折し、2つ目の信号を左折してすぐ左側。
- 橋JCT方面からは、東名阪自動車道 山田東インターを降りて約10分。
- 四日市方面からは、東名阪自動車道 平田インターを降りて約5分。

ホームページもご覧ください
<http://www009.upp.so-net.ne.jp/aoitori/>
 *過去の「のびやか」も掲載されています。